

天竜厚生会 一般事業主行動計画（第6次）

職員の仕事と生活の調和を図り、誰もが働きやすい労働環境を整備するとともに、女性の活躍を積極的に支援し、意欲ある職員が成長し挑戦できる風土を醸成するため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 令和8年4月1日～令和13年3月31日（5年間）

2. 内容

目標1；管理職ジョブチャレンジに応募を検討する女性係長へのキャリア面談実施率を、100%とします。

<取組内容>

令和8年 個別面談やアンケート等を実施し、管理職への不安や課題を把握する。

令和9年 女性管理職のロールモデル紹介（座談会・インタビュー記事等）を行い、挑戦意欲の醸成を図る。

令和10年 キャリアパス調査等を活用し、職員一人ひとりの意向を確認する。併せて、メンター制度の設計（対象者、メンター選定基準、運用方法等）を行う。

令和11年 応募を検討する女性係長を対象にキャリア面談を実施し、個別支援（メンター制度、キャリア支援計画など）を実施する。

令和12年 5年間の取り組みを総括し、キャリア面談や管理職ジョブチャレンジ制度の改善点を整理する。

目標2；正規職員の年次有給休暇の平均取得率を、70%以上とします。

<取組内容>

令和8年 有給休暇取得年間計画の策定状況について調査を行う。

令和9年 部署独自の連休制度の設置状況、閑散期における取得促進の実施状況、〇月までに〇日以上取得を推奨する取組状況など、好事例の共有を図る。

令和10年 既存の職員アンケートを活用し、有給休暇の取得に関する満足度や課題を把握する。

令和11年 各部署の有給休暇取得状況を定期的に確認し、管理職に対して取得促進に向けたマネジメントの徹底を図る。

令和12年 5年間の有給休暇取得率の推移を分析し、取り組みの効果を検証する。また、有給休暇取得率と時間外勤務時間数の相互の関連性を分析し、休暇取得促進が業務負荷に与える影響を把握したうえで、必要な改善策を検討する。

目標3；正規職員の時間外勤務の1人当たり平均時間数を、月5.0時間以下とします。

<取組内容>

令和8年 業務の標準化・効率化（ICT活用、福祉機器の導入、研修や会議の開催方法の見直し等）を進める。

令和9年 柔軟な働き方（時差出勤の拡充、選択的週休3日制の導入等）を推進する。

令和10年 既存の職員アンケートを活用し、働き方に関する満足度や課題を把握する。

令和11年 各部署の時間外勤務状況を定期的に確認し、管理職に対して削減に向けたマネジメントの徹底を図る。

令和12年 5年間の時間外勤務の推移を分析し、取り組みの効果を検証する。

作成日；令和8年3月9日